



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「かがみがわフェスタ」事務局主催「まちのしあわせが循環するエコシステム」開催！

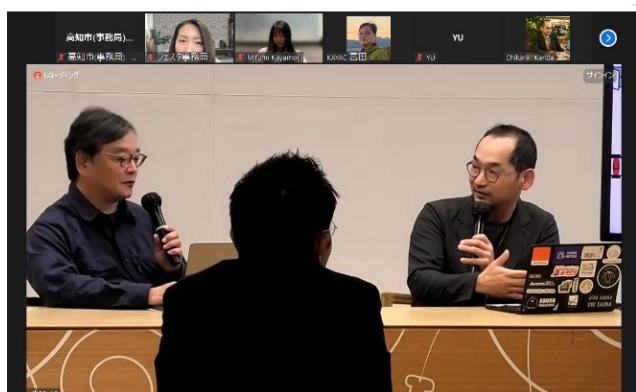
鏡川流域関係人口講座の第3期にあたる「かがみがわフェスタ」では、開催期間を含む約4カ月間で、地域情報の編集などを行うための講座など、鏡川流域関係人口に関するプログラムを開催しています

12月14日(木)には、東京都千代田区丸の内コミュニティスペース「3×3 Lab Future」にて、地域や「つながり」に関するプログラムを開催しました。

ゲスト講師として神田主税さん(3×3 Lab Future 館長)と宮田正秀さん(面白法人カヤック ちいき資本主義事業部)をお迎えし、まちのコインと3×3 Lab Future の実践から、まちのしあわせが循環するエコシステムについてのお話を伺いました。



会場とオンラインのハイブリッドで開催しました。



3×3 Lab Future では、様々な人が集うプラットフォームを基礎として、多様なプロジェクトやビジネスを創出し、地方創生を目指しています。

高知市のまちのコイン「ぼっちり」の担当者である宮田さんからは、「ぼっちり」を活用したスタンプラリーの事例などをご紹介いただきました。



鏡川流域関係人口講座の受講生が「ぼっちり」のスポットとなり、体験チケットを発行することで鏡川流域への関わりしるを創出・拡大している事例もご紹介いただきました。

また、会場参加していた鏡川流域外関係人口講座1期生が宮田さんと交流する姿も見られました！

鏡川流域関係人口講座第3期の運営を担う一般社団法人 Next Commons Lab も、ぼっちりのスポットに登録し、講座の開催などに関する体験チケットを発行しています。

今回のイベントの参加者も、体験チケットを利用して「高知に行ってみたくなりました」といったコメントを届け、鏡川流域への関わりを可視化しています。

今後も「ぼっちり」を通じて、高知や鏡川流域へのつながりを深めていければと思います。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり、山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android